

SHOKEI



第464号
2009年(平成21年)
2月10日発行

【尚綱学院合唱団の歴史】

響き渡る歓喜の歌声

SHOKEI CHORUS 50th ANNIVERSARY STORY

尚綱学院合唱団OGの活躍

尚綱合唱団50年の歴史を年表で追う

子羊からの一通の手紙

尚綱学院理事長／加藤正名

教職員エッセイ

【梅の花】

○チェンジ! / 大学保育科教員 村山雅夫

卒業生コラム

はばたき

1978年 尚綱学院高等学校卒業
グレート・パーソン代表／浅野純子さん

●情報掲示板／学校行事報告 ●同窓会コーナー拡大版(全国支部総会)

表紙写真／中学生のみなさん

SHOKEI 464 2009 響き渡る歓喜の歌声 SHOKEI CHORUS 50th ANNIVERSARY STORY

発行 尚綱学院後援会 〒980-0873 仙台市青葉区広瀬町9-1 TEL:022-264-5872
印刷 田宮印刷株式会社 仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺5-5-18 TEL:022-295-0281(代)
定価 一年送料共2,000円

Information

尚綱誌2月号に同封される
2種類の郵便振込み票について

後援会振込票

尚綱を応援して下さる方々による学校支援及び尚綱誌発行の費用になります。会員の皆様には「尚綱誌」をお届けしております。



同窓会振込票

卒業生による同窓会活動支援のための会費になります。

それぞれの団体をご理解いただきまして、ご支援の程よろしくお願い致します。

(尚、一般会員で送金済みの方々にも事務処理上同封されますが、ご了承ください)

■後援会・同窓会両事務局

子育て悩んでないで、一緒に考えましょう!

尚綱学院大学子育て支援講座 受講生募集中

テーマ **今どきのパパママの役割って何だろう?**

講師 **大豆生田啓友先生** (尚綱学院大学人間発達学専攻教授)

日時 & 場所 **2月14日(土) 13時~14時30分 名取市文化会館中ホール**

申し込み先 **しょうけい幼稚園 022-381-2270**

後援: 名取市教育委員会

リニューアルしました! 年6冊5回発送 5月 7月 9月 12月 2月

学校と保護者の皆様を。母校と同窓生を。生徒と保護者の皆様を。もっと尚綱を通じてつながって欲しい。そんな気持ちで出来ました!

この1冊で、尚綱学院の「いま」がよくわかります。

SHOKEI

尚綱誌購読のお願い 尚綱誌の購読を通じて間接的に
母校への支援が出来ますので、ご協力宜しくお願い致します。

- 尚綱後援会にご入会いただくと、機関紙「尚綱」が年6冊5回発送されます。(会費は年額2,000円か、その倍数から受け付けています)
- 購読ご希望の方は、下記にお振込みいただくか、もしくはお電話いただければ、こちらから専用振込用紙を郵送致します。
- 継続購読ご希望の方は、2,000円以上ご入金いただくか、毎年尚綱誌2月号に後援会の専用振込用紙を同封致しますので、それをご利用下さい。
- ご芳名掲載を望まない方は、匿名希望と振り込み用紙の通信欄にご記入下さい。

郵便振込口座No 02230-3-2116

お申し込み先 尚綱学院後援会事務局 TEL.022-264-5872 FAX.022-264-5830 E-mail:koenkai@shokei.ed.jp

建設整備事業募金への協力を

1月23日現在、同窓生ご父母、教職員、教会・企業の皆様(515件)から総額20,591,176円の寄付をお寄せ頂きました。ご協力頂きました皆様は紙面を借りてお礼申し上げます。

尚綱学院の募金活動は、大学図書館建設、中高運動施設の整備(エラ・オー・パトリックホーム)の復元を目的とした、総工費8億円に及ぶ大きな事業です。これらは、本学院の「建学の精神」を伝え、安全で高度な教育を行うためのもので、偏に、学生諸氏の未来を築くために必要な教育施設です。世界的な不況の中で募金活動は大変厳しい状況が続いておりますが、一口でも結構です。多くの皆様のご協力を賜りますようお願いいたします。(募金事務局)

大学図書館建設

大学院を設置し、5学科構成の大学へと発展したキャンパスにふさわしい図書館を建設します。

- 建築事業費: 600,000,000円
- 募金目標額: 130,000,000円



中高体育館等施設

充実した環境の下で学校生活を送れるよう、体育館やグラウンド等の施設を整備します。

- 計画事業費: 150,000,000円
- 募金目標額: 35,000,000円



エラ・オー・パトリックホーム復元

尚綱の原点であるエラ・オー・パトリックホームを名取キャンパスに移転復元し、学院のシンボルとして創建当初の建物に再現します。

- 建築事業費: 70,000,000円
- 募金目標額: 35,000,000円



連絡・問い合わせ先 電話...022-381-3334
法人事務局募金事務局 FAX...022-381-3335

尚綱学院で検索 → 建設整備事業募金をクリック

アドレス http://ap.shokei.jp/bokin/

おくやみ

謹んで
哀悼の意を
表します。

- 萩前信子様 (75歳) (中学昭和24年卒)
- 高松昭和27年卒・旧姓伊勢 (8月28日逝去されました)
- 伊勢和子様 (71歳) (中学昭和28年卒 高校昭和31年卒) (9月13日逝去されました)
- 宮崎吉之助様 (79歳) (中学・高等学校教頭 齋藤公夫様ご義父) (11月20日逝去されました)
- 馬場秀和様 (65歳) (大学生活環境学科教員 馬場たまき様ご義父) (11月26日逝去されました)
- 佐藤ちる様 (86歳) (大学表現文化学科長 梅津義宣様ご義母) (12月15日逝去されました)
- 大崎光枝様 (65歳) (保育科 昭和36年卒・旧姓田代) (12月22日逝去されました)
- 大友芳郎様 (80歳) (元理事 評議員) (1月1日逝去されました)



編集委員 徒然日記

わたくしたちはどうして生まれたのだろうか。もちろん両親がいたからだが、究極的には、地球上に生命体が発生したからに他ならない。何十億年かが経ち、一度も絶えることなく続いてきたのが、今の私たちという生命体なのである。

教員生活を続けていけば残念なことに、学生を亡くすこともある。これほど無念ことはない。死ぬのだから順番というものがある。ここに至った生命の尊さを痛切に思う。ある詩人の言葉を借りれば「二十億光年の孤独」から奇跡的に生まれ、ひどく低い確率で相續されてきた稀有な生命体なのだ。私たちは。(T.O)



響き渡る歓喜の歌声

尚絅学院合唱団の歴史

SHOKEI CHORUS 50th ANNIVERSARY STORY



SHOKEI CHORUS HISTORY

- 1958年** 4月 音楽部合唱団発足、斎藤弘先生顧問に就任
- 1959年** 6月 第1回定期演奏会（於・仙台市公会堂）東北・北海道初め初の高校合唱団単独演奏会部員103名
- 1961年** 3月 第1回古川定期演奏会（於・古川高校講堂）初の地方公演を開催し、以後10年間継続開催
- 1975年** 4月 東海林優子先生（現・鈴木）顧問に就任
- 1977年** 11月 全日本合唱コンクール全国大会高校の部金賞・文部大臣賞・日本放送協会賞・津川賞・カワイ賞・最優秀指揮者賞・ミュージック賞・音楽大学賞を受賞
- 1978年** 5月 斎藤弘先生宮城県合唱連盟理事長に就任
- 1979年** 3月 斎藤弘先生音楽部合唱団顧問退任
- 1993年** アメリカバプテストバイニエル大会に聖歌隊として参加
- 1998年** フランスへの演奏旅行
- 2003年** アメリカバプテストバイニエル大会に聖歌隊として再度参加
- 2008年** 第50回記念定期演奏会（於・青年文化センター）合唱ミュージカル「不思議の国のアリス」他

2008



合唱団 OG でソリストとして活躍中の3人を紹介します。

鈴木美紀子さん（平成元年卒）
 県内の大学学芸学部音楽科に進学し、卒業後ヘルギー王立リエージュ音楽院に留学。1997年最優秀の成績で終了。プリミエリ（優秀賞）を受賞。現在はフランスパロック音楽、中世、ルネッサンスアンサンブル、16・18世紀イギリス、ドイツ歌曲やオラトリオのソリストとして演奏活動を行っている。

高橋絵里さん（平成3年卒）
 県内の大学学芸学部音楽科に進学し、卒業後オランダのアムステルダム音楽院（旧スヴェーリンク音楽院）に留学。ルネッサンス、パロック期を中心とした音楽を学び2002年ホストグラチュエイトディプロマを取得し卒業。現在は仙台を拠点に国内外でソロ、アンサンブルの演奏活動を行っている。アンサンブルオルフェ、尚絅音楽教室合唱団講師。

広瀬奈緒さん（平成4年卒）
 県内の大学学芸学部音楽科に進学し、イギリスの王立音楽大学古楽科を卒業。在学中、ペーターヒアース・デュオコンクール3位入賞、RCM古楽コンクール1位を得る。英語の美しい発音と深い表現力には定評があり、古楽のフィールドでの新しい旗手として、意欲的な活動を展開している。現在、尚絅中高合唱団ヴォイストレーナー、尚絅音楽教室講師。

合唱団の誕生
初代顧問 斎藤弘
 昭和27年の春（今から56年前）、私は同志社大学卒業後、尚絅学院社会科教師として勤務しました。当時はクラブの合唱団というものは存在せず、聖歌隊がありました。昔から合唱の好きだった私は、合唱団結成の夢を抱きながらも、諸般の事情が許さず時が流れ、昭和33年4月念願がかなって、音楽部の顧問になった次第です。
 “学園を音楽の花が充滿した楽園にしたい”そんな夢を抱きながら、一生懸命、本当に楽しい時間を放課後、生徒と共に過ごしたものです。翌年、単独で定演を開くに就いて、随分学校当局に心配をかけたのですが、大成功裡にこの夢を果たす事が出来ました。多くの方達の暖かい御援助があったればこそです。
 こうして、第1回定期演奏会がスタートしました。以来、年1回10年、20年…と、時折自問自答する事もありましたが、生徒諸君の頑張り様に励まされたものです。

50周年記念コンサート
 08年10月12日（日）高校礼拝堂に於いて、初代顧問の斎藤先生指揮のもと、1年前から準備を始めた合唱団OGと現役生徒、さらに管弦楽部も加わり、合同の記念コンサートが盛大に行われました。



2007

本年より男子部員も入り、ボランティアコンサートへの参加も多くなってきました。



2003

アメリカへ聖歌隊として訪問しました。



1983

昭和58年ミュージカルを取り入れた頃

歌声も高らかに、尚絅学院合唱団の鮮やかな始まりです。
 初代顧問はもちろん斎藤先生。団員は100数名いたといえます。学園を音楽の花が充滿した楽園にしたいという想いを胸に練習を重ね、その年の全日本合唱コンクールでは初出場作ら東北大会まで進出し、高校女声の部で見事第2位の成績を収めたのです。そして翌年6月、高校の合唱団としては東北・北海道では最初の単独演奏会を開催。これが定期演奏会の始まりとなり、第2回のプログラムのメッセージで仙台一高指揮者が「他高校合唱団を刺激し、一種のブームを呼んだ尚絅合唱団の果たした役割は誠に大きい」と評価したのでした。

尚絅の歌声の歴史、歌姫達のお話。
 ご存じですか？
 尚絅学院に響き渡る歌声の主。さわやかに、時に情熱的に響き渡る声の主として、尚絅学院合唱団です。今回の特集では、50年を迎えた合唱団の誕生からこれまでの歩みをひもといてみましょう。
 本校での合唱団活動は随分古い時代から続けられて来ましたが、「聖歌隊」として誕生し、宗教活動がその主なものでした。そんな折、当時社会科の斎藤弘先生を中心に、生徒達が大きな努力をした結果、1958年（昭和33年）4月に音楽部合唱団が発足したのです。

オリジナル曲の完成。
 10年を経過した頃には顧問の先生も4人に増えます。大学で声楽やピアノを専攻した先生、さらにマネージメント担当の先生も加わります。斎藤弘先生の身上とされた、曲の解釈や柔らかな音色で美しい「ハーモニー」を作り出すことを課題として、朝・昼・放課後と、練習は続けられました。
 そしてこの頃、以前より熱望されていた合唱団のための曲が2曲ついに完成したのです。1曲目は卒業生の希望でもあった、「クラフソング」2曲目は組曲で、キャンパスのうた、どちらも著名な作曲家と、詩人で作詞家の先生方によって作られた作品で、国歌とし

また、地方公演も定期的に開催し、山形福島との巡回による3県高校合唱団と交歓定期演奏会を開催するなど活動は急速に発展。朝日新聞社やNHKが主催するコンクールでは県内では常にトップクラス又団員の多いことは県下随一でもありました。
 国内外の有名なアーティスト達が演奏する東京の普門館が会場で、指揮は斎藤弘先生、ピアノ伴奏は斎藤真知子さん（旧姓・高木、昭和47年卒）でした。

その翌年の1978年には、20周年受賞記念定期演奏会を開催し、秋には再度全国大会へシード校として出場しました。その後斎藤先生は顧問を退任し、その熱い思いは優子先生へと

て歌い継がれていく合唱団の大事な宝物となりました。
優子先生の加入で、さらに熱く！ 念願の金賞受賞！
 1975年（昭和50年）高校時代に合唱団に所属し、現任顧問の鈴木優子先生（旧姓・東海林）が音楽教師として合唱団の顧問に加わり、歌声はさらに勢いを増していきま

当時の思い出
合唱部OG 池田なおみさん
 「その会場は、天井の数えきれない程の明るい光が印象的でした。初めての全国大会で緊張している私達を見て、斎藤先生がまるでプラネタリウムみたいだね」と言ってお下り私達も「ほんと綺麗！こんな所で歌えるって幸せ！」と、ほっと緊張の中、大変気持ちよく歌うことが出来ました。結果発表された時は、あまりの驚きで各自それぞれの喜びを表現していました。文部大臣賞、津川賞、日本放送協会賞、優秀指揮者賞、そしてカワイ賞ではブランドピアノを頂いたと思います。その日の夕飯は祝会になり、仙台に戻った日は、仙台駅で軽い歓迎式典の様なものがあり、曲を披露しました。学校に帰ってからその後、礼拝堂やテレビ局等でも歌い、もう一度に感動が込み上げて、私はいつも涙を流しながらうたっていました」

受け継がれました。ウオイストレーニングを本格的に練習に取り入れ、近年の定期演奏会では合唱ミュージカルに意欲的に取り組みました。コンクールでも輝かしい成績を残しています。
 1993年平成5年からはアメリカへの聖歌隊としての訪問や、フランスへの演奏旅行をする等海外へも活動が広がっていきま



尚綱学院理事長 加藤正名

天は神の栄光を物語り大空は御手の業を示す。 昼は昼に語り伝え夜は夜に知識を送る 話すことも、語ることもなく声は聞こえなくとも その響きは全地にその言葉は世界の果てに向かう。

そこに、神は太陽の幕屋を設けられた。 太陽は、花婿が天蓋から出るように 勇士が喜び勇んで道を進むように天の果てを出で立ち 天の果てを目指して行く。 その熱から隠れうるものはない。

(詩篇19編2節から7節)

旧約の詩人は、創造主たる神が私たち人間やすべての生きものの生活空間としてこの天地を創られたことに對して、神に感謝し、栄光を神に帰しています。

教会の主日礼拝プログラムに「交読」があります。ここでは、司会者と会衆とが交互に詩篇を交読します。私は詩篇19編を交読するとき、いつも胸が高鳴り、おそそかで心が引きしまる思いになります。多くの詩人や作曲家もこの雄大な宇宙観に感銘を受けました。讃美歌74番「涯しも知られぬ」はこの聖句に基づいており、ハイドンのオラトリオ「天地創造」にも用いられて

います。この讃美歌が「讃美歌21」に採られなかったことは残念です。

旧約の詩人は、地球が丸いことを知りません。ましてや、人類が60億人にも増えたことも知りません。今や地球は無限ではありません。一方で資源の枯渇、他方で温暖化や環境破壊が生じています。一方で、食物とエネルギーを豊かに消費する人々がいますが、他方では、飢えと寒さに苦しんでいる人々がいます。私たちにこれまでのものに依存した生活様式を変革して、人間が共に生きられる持続可能な社会を目指し、旧約の詩人に和したいと思えます。



はばたき 第5回

浅野

純子さん

1978年 尚綱学院高等学校卒業 グレート・パーソン代表



1978年 尚綱学院高等学校卒業
1981年 ミス・インターナショナル、ミス・ワールド宮城県代表
1982年 ファッションモデル界デビュー、パリコレクション、ミラノコレクション、ローマ・オートクチュールコレクション、東京コレクションなど多数のショーに出演、その後、宝石メーカー企画室長就任
1991年 自己を磨くなどを総合的に学ぶ、ジョン・ロバート・パワースフィニングスクール仙台校副校長就任
1998年 グレート・パーソン代表(輝いて生きる人づくり)として、自己改革、マナー、美しい身のこなし、就職支援など幅広く人間の可能性や魅力を引き出す研修や講演を行っている



Junko Asano

この仕事を選んだきっかけは?

洋裁や手芸が得意な母の趣味(腕はプロ級)のおかげで、手作りの洋服やファッション雑誌に囲まれて育ちました。また父が店舗付自宅を建設しており、貸し店舗には染物屋、お茶屋、婦人服洋裁店、紳士服オーダー店が入り自然にファッションを学びました。それと、母が作る服のモデルや子供の頃からファッションショーを観に行っていたこと、身長178cmの体型が、モデルになった原点だと思っています。

仕事上の印象的なエピソードは?

パリコレではどんなスーパーモデルも毎回オーディションがあり、合格したモデルだけが出演することが出来ます。しかし、本番日にふざけたり元気がないモデルは容赦なく解雇されるんです。最高のステージは最高のプロ意識がある者のみ。世界の一流の方の共通点は、信念と夢を持ち、謙虚で人柄が良く、人を喜ばせることが大好きですね。

尚綱時代の思い出

清らかな礼拝堂の雰囲気と、礼拝堂に掲げられているイエスさま

教職員エッセイ

梅の花

Vol.5

大学保育科教員 村山 雅夫

チェンジ! 日本国内に突如押し寄せた大波。日本が変わるのは、いつの日のことか。

海の内こうアメリカでは、オバマ氏がチエンジを掲げマケイン氏に大統領選で大勝利し、44代アメリカ初の黒人大統領が誕生した。

一方日本国内では、この2年間で3人も総理が変わった。小泉政権後の行政改革の後継者としての安倍総理は体調不良を理由に途中で政権を放棄し、代わった福田総理も自ら自信喪失に陥り「私はあなたとは違うんです」といってセリフを残して政権を放棄し、待ちに待った3人目の麻生総理が誕生した。ところが、その後も自らの失言や失態で国民や閣僚議員からの信頼を失い、足下がぐらつきつつある。麻生政権は未解決の課題が山積みする中、迷走し求心力低下で政界再編が求められている。そんな折、サブプライムローンに端を発し、リーマン・ブラザーズが破綻し、世界的金融危機を引き起こした。アメリカでは、100年に1度の金融危機と言われている。強大

なアメリカ経済と自由競争のシンボルであったビッグ3、GM、フォード、クライスラーが瀕死の状態である。その波は日本国内にも押し寄せ日本列島を飲み込もうとしている。トヨタ、ソニー、キャノンなどの大手企業で大幅なリストラを余議なくされている。内定取り消しも生じている。日本の将来を担う若者に希望が見えない。 安倍、福田、麻生の3氏は各門中の名門である。長嶋、王、野村の3代の父親は野球とは無縁であった。スポーツ界で何代もスターが続くことはないが、政界では何代も続く。国会議員の半分以上が2世、3世議員であると言われる。政治家はよく、国民の目線に立った政治を、と気軽に口にしますが、本当にそうであってほしい。大学を出ても職に就けない、これは最悪である。オバマ氏の Change has come to America の「U.V.」 Change has come to Japan の日がいつになったら訪れるのだろうか。



まの優しい微笑み。皆で歌う賛美歌は心の広さを養ってくれているようで、とても好きでした。担任の今村千代先生やクラスメートも

何事もプラスに。「出来る!」という思いが大事です。長所や短所も、あなたの魅力。

大好きでした。同級生とは毎日将来の夢を語り合ったものです。3年時には現国の菅原栄先生の素晴らしいご指導のおかげで、第1回校内読書感想文コンクールにおいて特選に入賞することができたのも良い思い出になります。

夢を追う尚綱生にアドバイス

学生時代はコンプレックスだらけの私でしたが、成功したこととは自分が苦手だと思っていたことばかり。先生や良き先輩のアドバイスを素直に聴き何事にも「出来る!」と、プラス思考でチャレンジすることが大切です。長所は自信&短所は個性。苦勞や体験は人間の根っこを作ります。あきらめなければ自分らしい美しい花が咲きます。

TIME SCHEDULE ある日の浅野純子さんを追う!

- 6:00 ニュースを見る。起床&ストレッチ 体操で体をほぐす。仕事のチャックとタイムスケジュールの確認
- 8:00 朝食(毎朝和食)
- 9:10 出発。本日講師予定の尚綱学院へ
- 9:50 尚綱学院高等学校3年生特別授業 講演「輝く女性であるために~マナー実践講座~」
- 12:40 講演終了→軽食
- 13:30 プライベートレッスン 「講師になるための個人アドバイスとプレゼンテーション法など」
- 15:30 レッスン終了→移動
- 15:50 専門学校にて 「ウオーキングと接遇対応」の授業
- 17:20 授業終了。報告書記入。その後一時帰宅し夕食→再び出発
- 18:30 フラダンス指導 (A・Bクラス)終了後帰宅
- 21:00 家族と団欒

情報掲示板

立春も過ぎ、暦の上ではとうとう春の季節。まだまだ肌寒いですが、春を目の前に賑やかな校内です。これからやって来る新しい笑顔と、桜の季節を心待ちにし、今を思う存分楽しみましょー！

法人事務局

教職員クリスマス礼拝

今年度の学院教職員クリスマス礼拝は、12月1日(月)の夕刻、名取キャンパスにおいて開催されました。小林孝男宗教主任の司式、中高の小川祐弥先生の奏楽により、厳かな雰囲気の中、礼拝が守られました。今年度のメッセンジャーは仙台北三番丁教会牧師の江連実先生でした。「来るべき方」を題して、隣人を愛することの意義をさまざま例を用いて述べられました。



第二部の祝会は、中高の小林智美雄先生と幼稚園の川田裕子先生司会のもと、幅広い年齢層の「新人」の方々へのインタビューなどをお楽しみいただき、楽しい時間を過ごしました。(企画調整 今田和)

幼稚園

クリスマス礼拝



幼稚園では12月17日(水)・18日(木)・年中・長組のたてわりペア、19日(金)年少組の3日間の日程でクリスマス礼拝を守り、保護者の方々やご家族の方々と共にイエス様のお誕生を

喜び祝うことができました。年中・長組の礼拝の中では、子どもたちが降誕劇を演じ、見ていた方々は子どもたちのかわいらしさと一生懸命な姿に、思わず笑いが出たり、拍手が沸き起こりました。子どもたちの姿を通して、クリスマス夜のすばらしい出来事をご理解していただけたのではないのでしょうか。(幼稚園教員 坂本由佳里)



その他の行事報告
幼稚園で行われたその他の行事です。
保育科の学生や、法人職員とダンスで楽しく交流しました。
ハロウィン
10月30日(木)

中学校

奉仕の日の取り組み

中学校では約2ヶ月かけて12月12日(金)奉仕の日に向けて「奉仕とは何か？」と考え、準備を行ってきました。1年生は校外学習の学びでお世話になった八幡町界隈の清掃活動、2年生は老人ホーム洛風苑訪問ならびに清掃活動、3年生は啓佑学園で交流奉仕をし、それぞれ楽しい奉仕



の時間となりました。特にクリスマスへの喜びを分かち合うために手作りで葉やカードを作成し、心温まる交流が各学年ともできたことを嬉しく思います。今後「与える喜び、共に喜び」の気持ちを大切に、学校生活を送れるよう願っています。(中高教員 井上真理子)

高等学校

創立記念礼拝

11月25日(火)、創立記念礼拝が持たれました。今年と同窓会より紹介して頂いた菊田弘子氏(1955年高校卒業)よりメッセージを頂きました。尚綱生時代の思い出を通して、多くの人々の祈りと献金によって尚綱が生まれ、神様の導きのもとに歩んできている事をわかりやすくお話してくださいました。また、翌日の26日(水)も創立を覚えて、石田由紀子氏(1949年本科卒業)にメッセージを頂きました。卒業の時に贈られた聖句だから、人にもして欲しいと思



う事は何でもあなたも人になさい。これこそ律法と預言者である」をバックボーンとしている石田氏の歩みは、過去も現在も聖書の御言葉に導かれていた尚綱生をあらためて確認する事が出来ました。(中高宗教主任 佐藤洋晴)

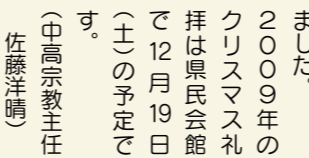


書は、過去も現在も聖書の御言葉に導かれていた尚綱生をあらためて確認する事が出来ました。(中高宗教主任 佐藤洋晴)

クリスマス礼拝



12月18日(木)イズミティ11においでクリスマス礼拝が行われました。当日は、全生徒、卒業生や保護者、一般の方々が1つになつて、預言者イザヤの預言から復活までイエス様の生涯を振り返る、礼拝劇を奉げました。特に礼拝劇のキャストや管弦楽は、生徒、教職員、PTA、卒業生、尚綱音楽教室の生徒など幅広い人達で構成され、少ない準備時間を有効に使い、真剣に練習に取り組み姿が見られました。当日はその結果が現れ、今年も素晴らしい礼拝をイエス様に奉げる事ができました。



2009年のクリスマス礼拝は、県民会館で12月19日(土)の予定です。(中高宗教主任 佐藤洋晴)

修学旅行

昨年同様、3コースに分かれての修学旅行でした。



オーストラリア(11月10日~20日) 沖縄は唯一国内戦があった場所。戦跡を訪ね、そこで起こった出来事に思いを馳せることが出来ました。また沖縄



沖縄(11月16日~20日) 韓国(11月18日~22日) 11月中旬から下旬にかけて、私たちは沖縄・韓国・オーストラリアの3コースに分かれて修学旅行に行ってきました。それぞれのコース別に行われた事前学習を経て、私たちは深い学びをしてきました。沖縄では、豊かな自然に触れ、戦争の歴史について学びました。オーストラリアでは、ホームステイの家族との触れ合いを通して生活スタイルの違いを実感しました。私が行った韓国では、イサベル生との交流を深め、言葉が通じない中でも「コミュニケーション」が取れる喜びを知りました。慶州では、独立記念館の見学をして、日韓の間で起きた悲慘な歴史の背景を目の当たりにし、愕然としました。歴史を知った今、私たちに求められている

の人と風土に触れ、心豊かにされて元気に帰ってきました。韓国での思い出は釜山にある姉妹校イサベル高校との交流です。子どもたちが別れを惜しむ姿は、何回目にしてても、心打たれます。新しい両国の関係を築くのは彼々に期待します。(2学年主任 竹内紀幸)

出逢いから得た感動と学び

2年6組 森文蒼

受賞入賞のお知らせ

- 中学校バスケットボール部
県中学校新人バスケットボール選抜大会 県大会 ベスト8
平成20年高業CUP
バスケットボール 優勝
- 高校バドミントン部
第45回仙台市民総合体育大会
女子ダブルス2部B
- 第1位 齋藤希美 永澤莉奈
- 第2位 鈴木彩夏 桜井香菜
- 第57回宮城県高等学校書道展覧会
第3部(漢字かな交じり部門)
推薦 鈴木麻美(3年6組)
特選 加藤早織(3年3組)
金賞 佐藤彩香(3年7組)
岡崎友美(3年1組)
小林あい(3年5組)

中高PTA活動報告

2005年より約2年間役員を中心に、文化祭ハサやエラオ記念切手の販売、旧役員への呼びかけなどを通して募金活動を続けてきました。08年9月に総額¥500,000円になり、この原工ラオ改革として、学校に寄付させていただきます。(元PTA会長 二浦佑)

大学・短期大学

クリスマス礼拝

12月16日(火)13時30分より電力ホールでクリスマス礼拝を守りました。宗教主任の小林孝男先生が「闇の子供たち、クリスマス」と題してメッセージをくださいました。カンボジアのプンベン市内にある女性たちの企業「フェアファッション」の話でした。そのために席上献金がなされました。残念なことに必要な25万円は満たされませんでした。可能な方は大学宗教部まで献金をお送りください。礼拝



後はクリスマス音楽会が行われました。ハンドベル演奏や独唱、クリスマス・フェスティバルの合唱の後、よしこの夜を全員で讚美しました。(宗教部 健 康栄養学科 教員 佐藤玲子)

大学管弦楽団定演

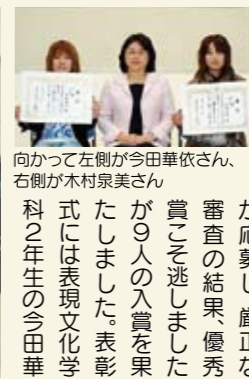
私達尚綱学院大学管弦楽団の第15回定期演奏会は、12月21日(日)に大盛況で終えることが出来ました。本番までの道のりは、決してたやすいものではありませんでした。ひとりひとりの演奏者としての責務や、精神的にも肉体的にも辛い長時間の練習などに、何度もくじけそうになりました。しかし、指揮者である高木和男先生の熱心な指導や、多くの方々からのご支援があり、本番は演奏者である私達だけでなく、お客様にも残る演奏を披露することが出来たのではないかと思います。この演奏会の為に協力いただいた皆様、深く感謝しております。(実行委員長 保育科2年 石黒絵美)



情報掲示板

男女を越えてわかり合いたい 名取市男女共同参画 川柳・フォトコンテスト 受賞報告

10月29日(水)13時半よりJR名取駅コミュニティプラザにおいて、名取市が男女共同参画の推進活動の一環として実施した川柳・フォトコンテストの受賞者表彰式が行われました。本学からは「川柳部門」に多数の学生が応募し、厳正な審査の結果、優秀賞こそ逃しました。賞をいただきました。表彰式には表現文化学科2年生の今田華



向かって左側が今田華依さん、右側が木村泉美さん



エコデスマイル コンテストみやぎ 生活環境学科 2年 加茂弘大

エコデスマイルコンテストinみやぎ2008は、企業や団体、個人など地球温暖化防止につながるような活動などを募集し表彰しようというコンテストで、今年で5回目になります。今年はこのコンテストに尚綱学院大学生生活環境学科が特別協力として参加させていただくことができました。

衣さん、同、木村泉美さんの2人が参加し、名取市長から表彰状と賞品を受け取りました。受賞作品の一部をご紹介します。

笑顔咲く 夫婦で並ぶ 台所 現代社会学科・浅野美由紀
家事育児 父も参加で 母笑顔 現代社会学科・遠藤瑞穂
赤子の手 はさんでにぎる 夫婦の手 人間心理学科・高橋良隆
わたしたち 2人でやるよ 子育ても 現代社会学科・阿部萌

入賞された皆さん、おめでとうございます。 (生活環境学科教員 渡邊千恵子)

の方法などを昼休みなどの時間を使い何度も話し合いました。

今年のコンテストには初回となる去年を大きく上回る68件の応募があり、書類審査の中から選ばれた20組が、去る11月8日(土)に国際センターで行われた県大会に出場しました。その中から来年2月に行われる全国大会に出場する事になる最優秀賞(宮城県知事賞)をはじめ9つの優秀賞が選ばれましたが、今大会ではこれら10の賞に加え、生活環境学科の学生教授が選ぶ尚綱学院大学生生活環境学科賞という特別賞を贈るといふ機会を頂きました。

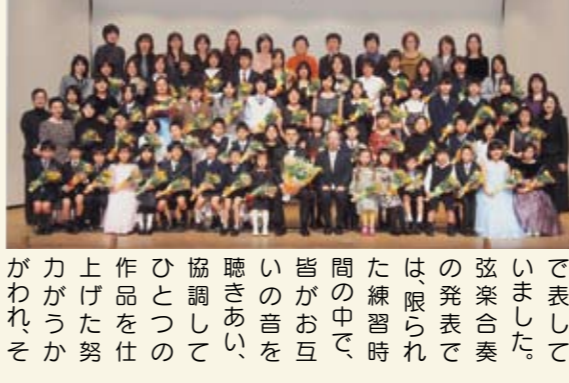


実行委員ではどのような観点から賞を決めるかということも話し合い、学生の視点から取り組んでみたいと思えるような発表に対して賞を贈ることになり、カキ殻を利用した水質浄化等に取組む旭洋設備工業株式会社に決まりました。

尚綱音楽教室

発表会

第42回、尚綱音楽教室発表会が11月3日(月)戦災復興記念館にて行われました。幼稚園年中のお子さんから音楽大学受験を控えた高校生まで、それぞれが自分の進度や目標に合わせて一生懸命に練習した曲を、1人ずつ舞台上で演奏する様子に、会場に集まったお客様から暖かい拍手をいただきました。特に今年は、小学生の男の子の出演が多く、音楽の勉強が本当に好きな子供が楽しんで習っているという印象がありました。



また、合唱教室の発表では、各自が伸び伸びと歌い、表現する喜びを全身で表していました。弦楽合奏の発表では、限られた練習時間の中で、皆がお互いの音を聴きあい、協調してひとつの作品を仕上げた努力がうかがわれ、その演奏は聴衆に感銘を与えていました。

今回は短期大学部保育科専任講師である土田定克先生が、賛助出演して下さいました。曲はチャイコフスキー作曲の「くるみ割り人形」からピアノ独奏用に編曲されたもので、華麗なテクニクと音色に、会場の聴衆は目をみはり、息をのんで聴き入りました。

音楽を始めた、より高いレベルへと思っている方々とともに尚綱音楽教室はこれからも「生懸命」活動を続けてまいります。きつと音楽があなたのすばらしい宝物になることでしょう。

(尚綱音楽教室講師 高塚美奈子)

尚綱音楽教室のご案内

科目は入門コース、ピアノ、ヴァイオリン、チェロ、声楽、ソルフェージュ、保育科・音大受験科等あり、発表会、著名な先生方の公開講座や特別レッスン等も行っています。

音楽を愛する3歳から大人の方まで幅広い方々が学んでいます。あなたも音楽を始めませんか！楽しく丁寧に指導します。入室随時。見学、体験も歓迎。

■連絡先
090-6068978004
10時~19時(日祭日を除く)

この春、羽ばたいていく 尚綱学院卒業生の皆さんへ



喜ぶ人と共に喜び、 泣く人と共に泣く

学院長 穴戸朗大

卒業されるみなさん、ご卒業おめでとう。みなさんのこれから的人生が人を愛し、人に愛される日々であるようにとの願いを込めて次の聖句をお贈りします。

「喜ぶ人と共に喜び、
泣く人と共に泣きなさい」
(ローマの信徒への手紙12章15節)

この言葉は尚綱の教育目標である「他者と共に生きる」をもっともわかりやすく教える言葉です。みなさんは尚綱に入学以来、幾度となく「他者と共に生きる」とか「共に生きる」という言葉を見聞きし、またそれを実践する機会を経験されたことと思います。その中には喜ぶ人と共に喜ぶこと、泣く人と共に泣くことも含まれていたことでしょうし、実際には泣く人と共に泣くことよりも、喜ぶ人と共に喜ぶことの方が難しいと感じた経験もあつたことではないでしょうか。

高等学校/岩田祥子

入学したときは、3年後なごまだの事だと感じていましたが、もう卒業だと思つて3年間はとても早く気がします。尚綱で過ごした日々を振り返ると、私にとってはバスケット部の生活が一番大きなものでした。毎日辛い練習をする中で学んだことは本当にたくさんありました。様々なことがあつたけれど、それを共に乗り越えたからこそかけがえのない仲間もできました。そして友達や先生、周りの人たちとの出会いに恵まれたおかげで、充実した生活を送ることができたのだと思います。

今まで当たり前前に送ってきた生活ができなくなると思うと寂しい気持ちもありますが、この尚綱で得たものを大切にしながら、新たな環境でも活かしていくつもりです。

総合人間科学部・健康栄養学科 三上智美



管理栄養士の取得を目指し、尚綱で学んだこの4年間は私にとって大変充実したものでした。入学当初は、びつりの授業や1人暮らしの寂しさから辞めてしまいたいと思つたことがありました。しかし、家族や友人の支えと管理栄養士になりたいという思いから、4年間頑張ることができました。

大学生活の中で、栄養教諭の資格取得やアルバイトなど様々なことに挑戦してきました。たくさんの人々と出会い、専門知識だけでなく、人と人とのつながりの大切さなどを学ぶことができました。就職を決めるにあたっては、当初から学校や行政の管理栄養士として働きたいと考えていたため、公務員試験を受けることにしました。大学の忙しい合間を縫つて8ヶ月ほど「コツコツ」と勉強に取り組み、なんとか合格することが出来ました。

管理栄養士として実際に働くことはとても大変だと思いますが、尚綱で学んだことや積極的な姿勢を忘れず、「食」を通じて人々に幸せを与えられるような管理栄養士になれるよう、前向きに取り組んでいきたいです。

短期大学部 保育科保育専攻 齋藤奈々



「専攻科室」？保育科の頃はもちろん部屋は設けられていなかったのですが、驚いたのを覚えています。専攻科室とは専攻科生のための部屋で、1、2年生合同で使っているので1つの部屋に20人程度の生徒が過ごしています。いわゆる生活の場です。

この専攻科の2年間で多くのことを学びました。保育の詳しい勉強はもとより、人と人との繋がり大切さを深く学んだ気がします。先生方との関係も密接になり、大切な友情を育みました。

段々と春が近づき、こんなに「卒業したくない」と思ったことは初めてです。しかし、出会いがあれば別れも始まるつとに思っています。専攻科での経験を糧に頑張っていこうと思います。

同窓会コーナー
各地で開かれている支部総会、皆さんは「存じていたか?」同窓会の今年一年を振り返ってみました。あなたの参加を心よりお待ちしております。

1年を振り返って
**すばらしい
支え合いの賜物**
会長 鶴間順子

同窓生のみならず、お元気ですか。ここに1年間を振り返り活動報告を致します。まず、行事のひとこまに多くの皆さんの参加がありました。各支部もそれぞれになごやかで尚綱精神の心があふれていて、最寄会、厚生部、ぶどうの会の活動も楽しみながら良き交わりを持つことができました。また、今年は学校からエラオバトリックホームの閲館式に招かれて多くの卒業生が一同に会し河内愛子さん、石田由紀子さんは思い出を語り、解体を惜しむメッセージをしてください、感慨深い時を共に過ごしました。

学校はさらなる飛躍の時を迎えております。募金を通じて私どもも一つにならなければなりません。支え合って来年度もよろしくお願い申し上げます。

支部紹介

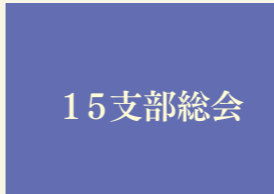
尚綱学院同窓会では、北は北海道、南は関西まで15支部が活動しております。毎年6月より12月まで支部総会が行われております。今回は、各支部の写真と20周年を迎えた大崎支部13年ぶりに再開した登米支部をピックアップしてご紹介したいと思います。



6/21 関西支部総会



7/5 名取支部総会(5周年記念)



6/28 岩手支部



7/12 岩沼支部総会



7/19 塩釜支部総会



9/6 北海道支部総会



9/20 巨理支部総会



9/27 登米支部総会



10/4 大崎支部総会



10/11 気仙沼支部総会



10/18 山形支部総会



10/25 仙南支部総会



11/8 石巻支部総会



11/15 東海支部総会



12/6 関東支部クリスマス会(80周年記念)

Pick up 1 地域の方も一緒に
大崎支部

10月4日(土)、今年の支部総会は大崎支部設立20周年記念行事として開催いたしました。

1部開会礼拝、2部総会そして3部に、歌を通して食育の仕事に携わり活躍している飯淵由美さんと東松島市のコーラスグループ「ハラハ」のコーラスを招いての「記念コンサート」を開催し楽しいひと時を過ごしました。

3部は、5年



毎に市民公開講座として地域の方と歩んで、これからも続けていきたいと思っております。

(大崎支部 前支部長 藤木 ちか)

Pick up 2 再会の秋
登米支部

9月27日(土)13年ぶりに登米支部総会を開くことができました。26名の参加の中、礼拝総会・祝会と今までの空白を埋めるかのように、讃美歌を歌



い、学院の来賓の先生方のお話に耳を向け祝会では楽しく時を過ごすことができました。登米市長のお話もあつたといふこともあり、市長にもご出席いただき、また、佐々木学長も登米出身と嬉しい事もありました。来年度からは、力を合わせ母校の為に頑張ってくださいと思っています。

(登米支部 支部長 菅野祐子)

美しい歌声と感謝に満ちたひととき
**クリスマス賛美
礼拝・祝会**



12月13日(土)中学校礼拝堂にて130名を超える参加者の下行なわれしました。広瀬奈緒さんの素晴らしい独唱で始まり、仙台北教会の川端純四郎先生の「讃美歌きよしこの夜」が作られた時代の背景などのお話しを興味深く拝聴いたしました。広瀬さんと鈴木真衣さんの二



重唱、中高教員の小川祐弥先生のピアノ独奏、恒例の「ハレルヤコーラス」も感動的でした。祝会では、千葉有栄さんの手話讃美歌、尚綱幼稚園教員の楽しい手遊び讃美歌で皆様童心に返り楽しい一時を過ごしました。厚生部のバザー、ぶどうの会の歌、同窓生の司会者など多くの方のご協力に心から感謝申し上げます。ハレルヤ!

(副会長 氏家道子)

親睦を深めています
最寄会

宮城県と関東支部には、「最寄会」があります。宮城県の場合、仙台市の5つの区ごとにあり、各々集まり親睦を深めております。その中から、今回は青葉区最寄会をご紹介します。青葉区最寄会は、昨年発足して、4、7、11月の例会を行なっています。地区の同窓生が気楽に集い食事と楽しい語り合いをこの事で「最寄会」と命名しました。現在S



参加お待ちしております
厚生部

毎月第4金曜日、広瀬校舎にて、同窓会行事での手作りバザーに向けて作品作りをしてあります。特に今年は、学院への募金の為、第2金曜日にも集まり月2回の活動を

21〜44年卒業の世代の違う同窓生が友達を誘い合い、母校や同窓会の最近の情報や懐かしい在校時の思い出などを語り、生徒の時には知らずに過ごしてきた母校の大切な歴史を学ぶ機会を、また、ゲームに興じたり、美味しい食事をいただきながら楽しい同窓生の交わりの一時を過ごしております。

(代表 菊田弘子)

ご案内
皆様の参加お待ちしております

本部行事

総会 日程:09年5月16日(土)
場所:江陽グランドホテル

八三会 09年8月3日(月) 輪王寺内北山霊園

クリスマス讃美礼拝・祝会 09年12月12日(土) 広瀬校舎

'09年度支部総会

支部名	本年度開催日	支部長
関西	6月20日	播節子
岩手	6月27日	道又百合子
名取	7月4日	小野 すすの
岩沼	7月11日	佐藤 裕子
塩釜	7月18日	(代行)遠藤 和子
北海道	9月5日	小野 樹子
巨理	9月19日	高橋 泰子
登米	9月26日	菅野 祐子
仙南	10月3日	上西 則子
気仙沼	10月10日	森田 文子
山形	10月17日	佐藤 徳子
大崎	10月24日	佐藤 了子
石巻	11月14日	丁子 婦貴子
東海	11月21日	伊藤 八千穂
関東	12月5日	池田 世子

※開催はいつでも土曜日となっております。 ※★は新支部長です

皆さんで楽しみましょう
ぶどうの会

「聖書と讃美歌を楽しむ会」として、1月を除く奇数月の第一日曜日、午前10時から12時まで尚綱音楽教室を会場に活動をしています。

その他、同窓会行事での歌、慰問演奏等の活動を行っております。

(ぶどうの会会長 小山肇子)

秋の叙勲
「瑞宝単光章」受賞

昭和42年高校卒 早坂美恵子様
社会福祉法人宮城県福祉事業協会に39年間勤務。08年3月まで小田原保育園所長をされていました。

おめでとうございます!

現在、同窓会一丸となり募金活動に取り組んでおります。声かけしあつて母校の発展のために皆でさげすけましよう。文書の届いてない方、事務局にご一報を、すぐ発送できます。